

(様式 2)

「持続可能な開発目標（SDGs）を桐生市のまちづくりに生かす条例（案）」  
に対する意見提出手続の結果

- 1 意見の募集期間 平成31年1月11日（金）～2月12日（火）
- 2 意見の提出者数 8人（郵送1人、ファクシミリ3人、電子メール4人）
- 3 意見の件数 22件
- 4 担当部課 桐生市議会事務局 議事課
- 5 提出された意見の要旨と考慮の結果

(1) 条例案全般についての意見

番号	意見の要旨	考慮の結果（意見に対する市議会の考え方）
1	SDGsを推進するにあたり、ステークホルダー全体での「SDGsプロジェクトチーム」を発足させてみてはいかがか？	いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。 また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。
2	桐生市では、17の目標と169のターゲットの中で、重点的な取り組みは何か？具体的にされたほうが良い。	市の実情を把握し、今後、色々な取り組みを推進していく中で協議していきたいと思えます。
3	「地域ESD拠点」など、SDGsを広めるための拠点づくりや先進的な取り組みをしている行政などのステークホルダーとの積極的な交流が必要である。	いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。 また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。
4	第7条～第10条までの「努める…」との表現では力強さを感じない。市がリーダーシップを執っていく覚悟と力強さを感じる表現を望む。	広範で多様なステークホルダーが存在すると思われまますので、このままとさせていただきます
5	SDGsをチャンスとして捉え、桐生市民にとって有益となるよう切に願う。	いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。 また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。
6	資料が多いことに驚いた。内容は多岐にわたり私共の生活感覚とかけ離れた啓示の領域を思わせる崇高な理念。知識人の思考は別の世界を生きる観念の人たちであると再認識した。	今後も色々な取り組みを推進していく中でご意見等をいただきたいと考えております。

	<p>条例案に目を通してほっとした気持ちになった。これならば市民であれば意見を述べることは可能である。</p>	
7	<p>第1条～第10条まで、すべてすっきりとわかり易く整理されており論をはさむ余地はない。ただ、この核心にあたる目的を達成するための手段、プロセスの具体策が提示されていないことに物足りなさを感じた。</p>	<p>市の実情を把握し、今後、色々な取り組みを推進していく中で協議していきたいと思えます。</p>
8	<p>諸問題を解決するためには以下のことを留意する必要があるものと考ええる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体の機能、予算面、地域の経営資源、知的ノウハウ、民意の結集力等に制約があること。</li> <li>・当市の発展とその後の変貌の過程を紐解き、その要因を検証し明確にする。失政の轍を踏むことなく前進させる覚悟が必要。</li> <li>・当市の運営方針と行動計画書を作成し、夢のあるまちづくりの将来像を市民に示すこと。</li> <li>・市の責務は極めて重大で行動計画を実践成功させるため市民の協力は欠かせない。全地域で対話集会等を開催し、徹底した討論により賛同を得ること。</li> </ul> <p>(市の責務) 第3条に、諸課題を統合的かつ横断的にマネジメントするリーダーの追加を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能なまちづくりの必要条件は「稼げる仕組み」を作ることが原則であることも忘れてはならない。</li> <li>・市民としてこの運動(活動)が絵に描いた餅にならないよう参加意識をもって見守っていきたいと思う。</li> </ul>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>

9	<p>第1条、第4条の「NPO法人等」の標記について、桐生市のNPO法人の数は48団体と少ない。各種団体等では1500を超える。広範囲なステークホルダーとのパートナーシップの深化、とりわけ官民連携が必要不可欠であることから、市民一体となる取り組みでは広範囲に意識づけできる「NPO等」の標記のほうが良いのでは。</p>	<p>ご指摘のとおり標記がよいと思われるため、「NPO法人等」を「NPO等」に改めさせていただきます。</p>
10	<p>SDGsの取り組みをまちづくりに取り入れる先進的な条例づくりは素晴らしいと思います。市民が一体となって取り組んでいける、また、活動がよりスムーズにできる条例となることを願います。桐生市の先進的な取り組みを、桐生市の現状から「桐生市らしく」表現していただけると幸いです。</p>	<p>ご期待にそえるよう努力いたします。</p>
11	<p>損保ジャパン日本興亜㈱の「社会的課題・SDGsに関する意識調査」によれば、SDGsに対する一般消費者の認知度は非常に低く、約25%程度にとどまっている。このような現状で、貴議会が条例(案)を作成し、市民にパブリックコメントの提出を要請されても、ごく限定的な意見しか出てこないと思われる。条例(案)を作成する前に、市民向けの講演会、セミナー、勉強会などを開催する努力を行って認知度を高めてから条例(案)の作成を行う手筈をとるべきであると考えます。</p>	<p>市の実情を把握し、今後、様々な取り組みを推進していく中で、桐生市議会総務委員会における調査活動において、市民向けの講演会や勉強会等ができるよう研究をし、市民の皆さまに対しても広く認知されるよう周知・啓蒙を図ってまいりたいと考えております。</p>

12	<p>企業や団体や個人でSDGsの理念に従ってすでに活動を展開しているケースが多数見られる。貴議会は条例(案)を作成する前にそのような活動主体と十分なコンタクトをとる努力をされたのであろうか。経済、社会及び環境の分野またはそれらの複合分野で具体的な行動や活動を行っているところにこそ重要な知恵が存在すると思う。</p>	<p>桐生市議会総務委員会では、条例案作成前の所管事務調査において、企業や市民の皆さまに対しても広く認知されるよう、事前に桐生商工会議所や新里町商工会、黒保根商工会とコンタクトをとらせていただきました。しかしながら、さらに広範で多様なステークホルダーが存在すると考えられるため、今後においても継続的に情報収集等を行い、推進を図るための努力をしていきたいと考えております。</p>
13	<p>第6条(議会及び議員の役割)第3項「議会の議員は、SDGsへの理解を深めるとともに、自らも取組の研究に努めるものとする。」とあるが自分たちを実践者と位置付ける覚悟が足りない印象を受ける。立法府の議員という立場からはそうなるのかも知れないが、今こそ求められている重要な人材は実践者、活動者であると思う。</p>	<p>ご指摘の部分の第3項「議会の議員は、SDGsへの理解を深めるとともに、自らも取組の研究に努めるものとする。」の条文中にある___部分を削除し、「議会の議員は、SDGsへの理解を深めるとともに、自らも取組に努めるものとする。」と改めました。</p>
14	<p>全体的に桐生市だけに重点が置かれているが、近隣市町村や県や国や世界との関連に立って広い視野でSDGsに取り組む姿勢が足りない印象を受ける。「SDGsを桐生市のまちづくりに生かす条例(案)」とは言え、全人類、全世界にまたがる視点をも無視してはならないと思う。</p>	<p>第1条にて、この条例は、国際社会の共通目標であるSDGsの理念を踏まえ、市民、関係自治体、民間企業、NPO法人等の広範で多様な主体及び関係者(以下これらの主体及び関係者を「ステークホルダー」という。)並びに市が、相互に連携し、パートナーシップを構築し、本市及び地域社会を取り巻く諸課題を統合的かつ横断的に解決することにより、持続可能なまちづくりを目指すことを目的とする。と記述させていただきました。</p>
15	<p>SDGsにおいては、科学技術やイノベーションに期待するところ大であるが、重要なのは人としての生き方、生活のあり方、価値観の変革にあると思う。技術者のはしくれとして数十年を過ごしてきた一員の目には科学技術の発展の速さと成果の素晴</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>

	らしさには驚くがSDG sの達成のためにはそれだけでは不十分であり、人間の精神面での変革が必要であると考え、議員諸氏のお考えは如何であろうか。	
16	<p>(事業者及び関係団体の役割) 第4条第2項について、SDG s 17の目標の17番目にある「パートナーシップで目標を達成しよう」にあるように、様々な分野・異業種でのパートナーシップが必要不可欠ではないかと考えます。既存のつながりで今まで通り進めるのではなく、新たなつながりを増やすことができる対話型の意見交換会の開催を望みます。時間は昼夜ともにあると幅広い世代の参加が得られるかと思えます。高齢者でも参加できるよう各公民館での開催も望みます。広報きりゅうや市のホームページで広く告知してください。</p> <p>また、まちづくりは中心市街地だけではないので小さなコミュニティ(自治会)ごとに課題を見つめ、それをどう解決していくのか様々な立場の人同士で話ができる場を市や中間支援組織が窓口となり作ってください。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>
17	<p>(市民の役割) 第5条について、教育現場(幼稚園・保育園・小学校・中学校)においてもSDG Sへ向けた取り組みが重要だと考えます。将来を見据え、今後、桐生を担っていく子どもたちへの教育環境の整備はまちづくりに必須です。子どもたちの年齢に合わせた効果的な教育を持続させる仕組みづくりを市民を絡めた形で実施できるよう努めてください。</p>	<p>市の実情を把握し、今後、様々な取り組みを推進していく中で、桐生市議会総務委員会における調査活動において、教育の分野における取り組み等も研究し、広く周知・啓蒙を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>

18	<p>(議会及び議員の役割)第6条について、議員の皆さんにはSDGsへ向けた取り組みを行う関係各所・各団体の現場にも積極的に足を運び、一緒に体験をしたり、市民の様子や声を聞いたりして政策提言に反映していただきたい。</p>	<p>桐生市議会総務委員会における調査活動においても、SDGsの推進に積極的に取り組むとともに、当局に対しての提案を含め、市民の皆さまに対しても広く認知されるよう周知・啓蒙を図ってまいりたいと考えております。</p>
19	<p>「桐生市全体がコンパクトシティの実現」アンテナラウンジを当たり前に根付かせる。</p> <p>桐生市は群馬県の中で高齢化率1位であり、若者の流出・過疎化が加速している。行政や各種団体が行っている事業や施策に効果や変化が感じられない。教育・不登校・高齢者介護・障害者福祉・医療・癒し・子育て等の各種相談・カルチャー、どんな人もそこに来れば安心できる「この街に居たい」と思えるコミュニティの提案をします。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>
20	<p>今回、この意見募集を機に【SDGs】という言葉を知り色々となりに調べました。しかし、市のWEBサイトに添付してある資料を読んでも専門用語も多く世界的な規模の大きい事が多く書いてあり身近に感じず難しい問題と捉えてしまいました。</p> <p>まず、条例案意見公募よりも先に市民にSDGsについて広く認知させることが重要かと思います。市が先走りすぎて半端な条例を作られても市民も困ります。ましてや通常の条例と違いSDGsの概念は市民やステークホルダーあつての条例だと思います。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。</p> <p>先のご意見にも述べましたが、今後、市の実情を把握し、様々な取り組みを推進していく中で、桐生市議会総務委員会における調査活動において、市民向けの講演会や勉強会等ができるよう研究をし、市民の皆さまに対しても広く認知されるよう周知・啓蒙を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>

	<p>この機会にSDGsの概念の元、現在桐生市が取り組んでいる【桐生市新生総合計画】や【桐生市コンパクトシティ計画】などを市が構想するような『大きな計画』ではなくステークホルダーを交えて市民目線レベルの今できる『小さな実績』重視で取り組んではいかがでしょうか？</p> <p>壮大な計画や構想よりも市民が実感できる実績結果が、これからの持続可能な開発目標に繋がるのではないかと思います。</p> <p>今年は選挙もあり桐生市は大きく変わるチャンスOfYearとも思います。古くから栄えた【桐生ブランド】を生かすも殺すも行政や市民の一体感が大事だと思います。</p> <p>残念ながら今の桐生市は衰退度が酷いです。このチャンス絶対に無駄にはしてはいけません。</p> <p>是非、お金に目のくらまない良いステークホルダーと進めて欲しいと願っています。</p> <p>この条例が桐生市にとって、桐生市民にとって良い方向に向かうことを期待し私自身も努めたいと思います。</p>	
21	<p>持続可能な開発目標（SDGs）を桐生市のまちづくりに生かす条例策定にあたり、少子高齢化を始めとした社会課題や人口減少などによる将来不安を少しでも解消するためにも、この条例を策定することに大いに賛成いたします。</p> <p>2017年秋に経団連が「企業行動憲章」を改定するなど、動きがあるなかで昨年の秋以降に各種経済団体などが続々と本格的に取り組みをスタートさせてきましたが、日本国内の「S</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>

	<p>D G s 認知度は14.8% (2018.4電通調べ) と低水準となっており、市民はもちろんのこと、推進する人々も「SDG s」の理解度が低いことが、容易に予想できる。</p> <p>最近、我々「SDG s」を推進している業界団体内では「SDG s ウォッシュ (実態が伴っていないのに、上辺だけSDG s へ対応しているように見せかけていることを指す)」が発生してしまうことに大きな懸念を表明しています。</p> <p>また、そうならないために次の取組を実施して頂けるようにご提案致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SDG s」を理解できるように、説明会・勉強会の実施。</li> </ul> <p>市民や市内の企業各種団体向けに「SDG s」の説明会などの実施はもちろんのこと、「SDG s」を推進する市職員に対しても定期的・継続的な勉強会を実施する。</p> <p>&lt;いわゆる:ターゲット4質の高い教育をみんなに&gt;</p> <p>※具体例として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDG s に向けて質の高いアプローチ法 教育手法の導入 (E S D)</li> <li>・SDG s 達成に向け、E S D法を活用した人材育成の継続的な開催</li> <li>・桐生市を構成する様々なステークホルダーによる対話の場作り</li> <li>・SDG s 専門家を招聘し、まちづくりに活かすための伴走支援</li> </ul> <p>また、僭越ながら私たちとして、お手伝い致しますし、その準備もしています。</p>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--



22	<p>「SDG s」はこれからの街づくりには必要不可欠な考え方。よく間違えられて捉えられてしまうこととして「SDG s」が目的化してしまうこと。あくまでも「SDG s」は目標であって、その目標に向かっていく質の高い教育手法（ESD）で行うことが国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDG s）」でも述べられています。また、「ターゲット4：質の高い教育をみんなに」はSDG s推進の中核となり、全ての分野の課題解決に向けて必要な項目（ターゲット）であります。</p> <p>貧困、健康、福祉、男女平等、防災、エネルギー、経済、産業、技術革新、街づくり、人材育成、豊かな自然環境保全・保護など、ほぼすべての項目が桐生市の現状課題に直結しています。</p> <p>さらには将来起こりうる課題解決に向けて「SDG s」は桐生市においては必要不可欠な取り組みであると同時に、SDG sを活用したまちづくり条例運用にあたってはこれまでの実績やSDG sに精通し、誤解なく運用できる団体が携わり推進されるよう切に願います。</p> <p>これまで「SDG s／ESD」を推進してきた者として、また、桐生市民として重ねてお願い申し上げます。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、今後、桐生市議会総務委員会における調査活動の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市当局に対しても意見の要旨をお伝えいたします。</p>
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------